

平成29年度第1回長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会発言内容

事務局長	<p>定刻となりましたので、只今から平成29年度第1回長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会を開催いたします。</p> <p>開会にあたりまず、委嘱状の交付を行いたいと思います。4月の人事異動等により7名の委員が変更となっております。</p> <p>本日は、その中でも3名の委員の方が出席いただいておりますので、副町長より委嘱状を交付させていただきます。</p>
【委嘱状交付】	
事務局長	<p>なお、他の委員の方につきましては、机の上に委嘱状を置かせていただいております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、式次第に沿いまして会長挨拶を竹本会長よりよろしくお願いいたします。</p>
【会長挨拶】	
事務局長	<p>続きまして、本日の会議の成立についてですが、26名中5名の方が欠席ということで、過半数の出席を得ておりますので、本協議会設置規約第7条により、本日の協議会が成立するというところをご報告いたします。</p> <p>それでは、次第に沿いまして進めていきたいと思いますが、これからの進行は、竹本会長の方をお願いいたします。</p>
会 長	<p>それでは私の方で進めさせていただきます。せっかくの機会ですので、今回たくさん委員の方が交替されておりますので、恐れ入りますが、新委員の方、簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。</p>
【新委員自己紹介】	
会 長	<p>自己紹介いただきました委員、それから代理出席の方にも自己紹介いただきましたけれども、これからどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、式次第にもとづいて進めさせていただきます。次第3のきんぎょタクシーの運行状況について事務局から報告をお願いします。</p>
【きんぎょタクシーの運行状況について（資料1） 説明】	
会 長	<p>只今、事務局から運行状況について報告がありましたけれども確認事項、ご意見等ございますか。</p> <p>報告がありましたように、去年の10月から皆さんのご理解で3台目を導入して、その成果がどうだったのかということで、分析をしましたけれども、今のところは、お断り件数が減ったということを筆頭に良い結果が出ております。3台目を導入した効果が出てきているものと事務局の方では判断しております。</p>
委 員	<p>利用場所のランキングについて、荒尾支援学校の乗降回数が約半分ほどになっているのですが、生徒が減った以外に何か要因があれば教えていただけませんか。</p>
事務局	<p>荒尾支援学校に通学される方で、どうしても障がいの程度に応じて通学手段も変わってくると思いますが、今まで利用されていた方が卒業したということ、それと新しく入</p>

	学された生徒の利用が減ったということだと思います。一番は長洲から通学されている方が卒業され、全体の利用が減ったということが大きな要因だと考えています。
委員	平成27年度は乗車お断り件数がかなり多かったです、ジャンボタクシーを2台から3台に増やしたことによって、ある程度解消できたとは思っておりますが、それでもまだ少し件数があるということで、これをなかなかゼロにするというのは難しいけれども、今後事務局としてなにか検討されているのか、お聞かせいただければと思います。
事務局	完全にお断り件数がゼロというのは、財政的な問題もありますので、なかなか厳しいとは思っておりますが、今後ジャンボタクシーを4台、5台というよりも、時間帯で多くお断りをしている11時便、12時便、13時便にセダンタイプを導入するなど、タクシー事業者とも協議を含めて検討しなければならないと考えています。
会長	それでは、次第4の協議に入ります。議案第1号平成28年度長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会決算報告について事務局から説明をお願いします。
【議案第1号（資料2） 説明】	
会長	続きまして、監査委員の方から監査報告をお願いします。
【監査委員より監査報告】	
会長	決算に関しまして、質疑等ございましたら、どうぞよろしくお願ひします。ないようでしたら、拍手をもって承認を確認させていただきたいと思ひます。
【承認】	
会長	ありがとうございます。承認いただきました。 それでは、議案第2号に移ります。生活交通確保維持改善計画認定申請書について、事務局から説明をお願いします。
【議案第2号（資料3） 説明】	
会長	本計画は、補助金の申請のために必要な書類で提出しなければならないということで、皆さま方のご承認を得たあと、示されたフォーマットに沿って、提出することになるかと思ひます。何かご質問等あれば、よろしくお願ひします。
委員	今回、先ほど事務局から説明がありましたとおり、国の補助要綱の改正が非常に遅れております。従来の改善計画を踏襲した形となっているということで、特段運輸支局の方から申し上げることはないのかと思ひております。
会長	無いようでしたら、委員の皆さんにお示ししました内容でフォーマットを変更しまして、作成と提出に関しましては、事務局の方に一任させてもらうということでよろしいでしょうか。それでは、本計画の承認について、拍手をお願ひしたいと思ひます。
【承認】	
会長	ありがとうございます。 続きまして、その他に入ります。その他で準備しておりますのが、先般、要望がありましたきんぎょタクシーの玉名市への運行について、運輸支局と協議を行っております。

	す。その結果について事務局より報告をお願いします。
【運輸支局との協議結果 説明】	
会 長	町民の方から要望が強い、玉名方面への運行に関して、何とか努力をしているところですが、ご存じのとおり、公共交通全般を総合的に考えなければいけないということで、なかなかすぐにハードルを越えることができない状況であります。しかしながら、町民のニーズには応えていかなければならないということで、委員の皆さんにご意見をいただき、引き続き検討していきたいと考えています。委員の皆さんから何かございませんでしょうか。
委 員	六栄校区だと特に玉名・熊本方面に行く場合、大野下駅から乗ることが多いので、運輸支局の方に実情を理解していただき、今後とも事務局には頑張っていただきたいと思えます。
委 員	事務局からも説明があったように、きんぎょタクシーがフィーダー補助を受けているもので、玉名市に乗り入れる部分に関しては、補助の対象にならないため、補助の切り分けをやらしてもらわなければならないが、この作業をやることになるのが、タクシー事業者や事務局になってきます。この作業に要する事務負担が大きく現実的に難しいと懸念しているというのがひとつです。 それと次の方策ということになってくると思うのですが、きんぎょタクシーが全ての住民の方を満足させるような運行を100%行うというのは、かなり無理があるだろうと考えています。既存のタクシー会社があるので、一般のタクシーを利用したタクシー補助というやり方があるのではないかとというような見解です。
事務局	実際、大野下駅に運行した時にどれだけの利用があるのかということも考えていかなければならないと思えます。きんぎょタクシーを利用されている六栄校区の方が長洲駅を利用されているのかどうかなど、もう少し行動分析を行っていかなければならないと考えています。 もう一つ、大きな問題がタクシーの営業区域の問題として、以前はながすタクシーが大野下駅の構内タクシー的な役割をされていたので、営業区域の権利があるのかなと思っていたのですが、それが今はないということを知っています。営業区域が無いなかに入参するということは玉名市のタクシー事業者との協議にもなってくるので、なかなか厳しい状況であり、ハードルが高くなっていると感じています。
会 長	ご存知のように、玉名も荒尾も病院の場所がまだ固まっていないので、病院の場所が決定したときに、バスの路線も変わってくるので、改めて公共交通の再編を考えていく必要があると考えている。 準備した議題等は終了しましたが、せっかくお集まりですので、委員の皆さまから一言ずつお願いします。
【各委員より一言】	
委 員	マスコミなどで報道がありますが、荒尾市民病院の場所をどうするか今検討を

	<p>行っているところです。平成28年度、荒尾では立地適正化計画を策定して、今年度から公共交通の網形成計画を策定する予定です。今回大牟田市と連携して、県を越えての公共交通という形で荒尾駅周辺と緑ヶ丘周辺の2画を結ぶ公共交通網を作っていこうと考えています。プラスアルファで大牟田市との連携を今年度から進めていく予定です。</p>
委員	<p>きんぎょタクシーと長洲駅の乗り継ぎが200回ほど増えたということですが、駅南側で住宅の整備が行われていますので、長洲駅の利用が増えるということはよいことだと感じています。</p>
委員	<p>皆さんの活発なご意見がまちづくりや地域住民の移動手段として理想に向かっているなと感じました。今後も地域の皆さんの移動手段として利用していただければと考えています。</p>
委員	<p>この前、きんぎょタクシーに手押し車の高齢者の方が乗ってこられたが、その時に他の乗客が手を差し伸べる必要があり、誰か補助する方がいないと乗り降りが大変だと感じました。病院から迎えに来る車などは、運転手が補助しているのを見かけたことがあるが、運転手にはそういった方をお手伝いする役割はないのでしょうか。</p>
委員	<p>きんぎょタクシーの便数が増えて喜ばれているのですが、一人暮らしで耳が遠い方は電話での予約が難しいので、一般のタクシーを使っていると聞いたことがあります。それと、JRの長洲駅の看板がサビついているので、きれいにしてほしいと思います。</p>
委員	<p>きんぎょタクシーを初めて利用された方が便利だと喜ばれていました。その他には淡河黒田病院へ行くのに途中キャンセルが入ったため、一人しか乗っていなかったのに六栄校区を周って遠回りしたことで、診察の時間に遅れたという苦情を聞いたことがあります。</p>
委員	<p>高齢者に聞くと少しの距離でも乗せてくれるからと感謝される方がいらっしやった。中には手続きが面倒そうだから利用しないという方もおられました。</p>
事務局	<p>できるだけ簡単ということで、電話一本で登録の手続きができるようにしていますので、伝えていただけたらと思います。</p>
委員	<p>きんぎょタクシーはテレビでも紹介されているので、進んでいるなと思っておりましたけど、皆さん努力されていて、とてもよい取り組みだと改めて感じました。</p>
委員	<p>先ほど委員の方から手押し車の乗せ降ろしの話とか耳の遠い方の話とかあっているのですが、こういった方たちまできんぎょタクシーで対応していくのかどうか、そもそも論のところではあるが、考えていく必要があるのかなと思っています。福祉タクシーというものもあるので、そちらの方での対応にもなってくるのかなと感じています。</p>
委員	<p>全てをきんぎょタクシーで対応すれば、一般のタクシーの利用が減って、他のタクシー会社は廃業するしかなくなるので、もう少し全体をみて、利便性だけを追求するのではなく、ある程度すみ分けをしていただく必要があると感じています。長洲駅の話にしても確かに六栄校区の方たちは大野下駅の方が近いと思うが、長洲駅への要望も利用者数の基準などがあるので、町内の駅を利用して、守っていくという考えを持つことが必要だと感じている。</p>

委員	<p>根本的に乗合タクシーは、路線バスが経営的に難しいということで廃止になり、地域住民の移動手段がなくなるということからスタートしているものです。既存のタクシーがなくなればという話もありますが、路線バスも厳しい状況です。JR、バス、タクシー、それぞれにメリットがあって利用者が増えていかないといけないのではないかと思います。地域全体の公共交通を考えて、議論しなければならないと思います。</p>
委員	<p>高齢者の方の交通事故が問題となっているが、長洲町にはきんぎょタクシーの免許返納の制度があるので、免許を返納するきっかけとなっていへんありがたいと感じています。</p>
委員	<p>玉名市内へ行きたいという意見がありますが、荒尾市、玉名市どちらの乗合タクシーも市内の中で完結しています。きんぎょタクシーが荒尾市や玉名市に行ったりすると営業的な部分で玉名や荒尾市内のタクシー事業者の経営を圧迫する可能性がありますので、できれば他の公共交通機関を利用させていただきたいと思います。また、タクシーは高いので、他の公共交通機関を利用する場合の助成制度などを検討してほしいと思います。</p>
副会長	<p>前回の会議の時に公共交通はきんぎょタクシーの話だけではないんですよという意見をいただきました。全体のことを考えて公共交通の話をしていかななくてはいけないと本日の会議でも改めて感じております。民生委員を代表して参加しておりますので、地域代表の方より意見をいただいた高齢者とか体が不自由な方への対応に光をあてたいと考えておりますが、路線バスのこととかタクシー会社のこととかを考えながらよりよい公共交通の活性化の協議会にしていかななくてはならないと思った次第です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。貴重な意見をたくさんいただきました。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。それでは協議会をこれで終わります。</p>